



# 学校だより

令和2年度 12月号

和歌山大学教育学部付属特別支援学校

和歌山市内を彩っていたトウカエデやイチョウの街路樹も落葉し、街も冬の装いとなりました。例年この季節となると、けやき大通りあたりでは夕刻にはクリスマスや年末セールスのイルミネーションが華やかになり、行きかう人々で賑やかだったと思いますが、今年は新型コロナウイルス対策の自粛により、往来もまばらです。

新型コロナウイルスは、10月中頃から感染者数が再び増加に転じており、校内においても引き続き感染対策に取り組んでいるところです。今後、保健所や県教育委員会の保健担当課との連携を一層密にとり、身近に「接触者」や「濃厚接触者」の連絡があった場合にも当事者の人権にも配慮し、冷静な対応をとっていききたいと考えています。

さて、今回は給食について少し紹介させていただきます。本校の給食はおいしいです。これだけでは主観的な評価となりますが、客観的な指標として残食量・残食率、つまり子どもたちの残すおかわりの量をみましてもかなり少なく、満足のいく給食が提供されているといえるのではないのでしょうか。

本校ではご飯は自校炊飯で出来立てのご飯をいただけますし、主菜・副菜はスチームコンベクションオーブン(通称スチコン)という最新式の調理機器を中心に使って調理しています。この機器は熱と蒸気の量や温度を調整し、食材のうまみや水分を逃さず「焼く」「蒸す」「煮る」「茹でる」「炒める」「炊く」ことができる万能調理器で、この調理機器を駆使しながら給食員さんは腕を振るって調理し、最後は栄養士さんの舌で味付けを調整してくれています。また、「地産地消」の観点から和歌山産の食材を積極的に発注し、野菜だけでなく、県内産のものを使った鯛のバター焼きや和牛の牛井、クジラの琥珀揚げ、いのぶたの生姜焼き、南高梅の梅干しなどがメニューに組み込まれています。そして驚いたのが、冬瓜(とうがん)のスープ。県内外を問わずこの高級食材を給食メニューに入れている学校は私の知る限りではありません。



さて、話題を変えますが、日本の公立小学校の学校給食の動画がアメリカや中国で話題になっているのをご存じでしょうか。ニューヨークの小学校では子どもたちの食べ残しが多く、食べちらかした様子がとてもひどいようです。ニューヨークの教育関係者に参考にしてもらう目的で日本の給食の様子をアップしたようですが、その動画は公開後たちまち世界中で話題となり、中国の教育関係者の目にもとまりました。日本人からすれば小学校の日常の様子なのですが、中国の人にとっては自国と異なる様子が衝撃的だったようです。

教育関係者や保護者の意見の中には、「日本の学校給食は単なる『食べる行為』ではなく、感謝の気持ちを込めて食事に臨んでいる」「当番の子どもたちが厨房に給食をもらいに行くとき、食事を作る人に対して、感謝の言葉を述べるシーンには感動しました。これは、もちろん給食を作る人に対してだけではないと思う。食べる前に、手を合わせて『いただきます』と声を発するのも、食材を作る人、料理する人など給食にかかわるすべての人に対する感謝ではないのでしょうか」「学校の先生が児童と一緒に食べるのにびっくりした」「先生が児童たちと同じ内容の食事をするということは、食事に対する信頼感、安心感を与えられる。また、食べながら、いろいろなお話しができるのも、先生との間に隔たりがなくなり、良いコミュニケーションがとれると思う」「『いただきます』と『ごちそうさまでした』のような言葉を発するのところに、すごく儀式感がある。マナーの良さも感じとれる。このような教育は、成人してからも一生影響があるだろう」「生活力、協調力、食べ物への敬意、食べ物を作る人への感謝、食材や栄養に関するさまざまな知識…。これは日本の食文化そのものが反映されているのではないか」といった賛辞が寄せられています。



この動画は小学校の給食ではよく見かける光景で、本校の給食対応とは若干違うところはありますが、海外の人には感動に値する光景に映ったようです。給食は単なる食べる行為ではなく、さまざまな学びのエッセンスが凝縮しているということ、海外の方から評価で再認識することができました。学校だより9月号でヒドゥンカリキュラム、「隠れた教育課程」の話を書かせていただきましたが、これまで先輩教員が積み上げ確立してきたなげない教育活動の中には、我々が意識・意図できていないけれども、とても大切な学びのポイントがまだまだたくさんあるのではないかと気づかされる記事でした。

校長 武内 正晴

裏面に続く

## ◆保護者の皆様へのお知らせ

・11日(金)に紀三井寺公園陸上競技場にて、マラソン大会を開催します(高等部3年生は修学旅行のため、不参加となります)。小学部児童のみなさんは現地集合(9時25分)、中学部・高等部生徒のみなさんは学校に登校し、借り上げバスにて競技場に集合となっています。9時30分より開会式を行います。

① 小学部 9時45分スタート予定

② 中・高等部 10時15分スタート予定

(スタート時刻は目安です。スタート時刻が前後することもあります)

保護者の皆さんが応援に来られる際には、新型コロナウイルス感染症対策(検温等健康観察、マスク着用、ソーシャルディスタンス)をお願いします。また、お子様の体調管理もよろしくをお願いします。

お子様の様子の写真撮影やビデオ撮影をしていただいても構いませんが、インターネット(LINE、YouTubeなど)への投稿をしないようにお願いします。

・2学期の個人懇談は、希望された保護者の方に、7日(月)、8日(火)の放課後に行います。下校時刻の変更はありません。

・1月10日(日)に本校体育館で『ふよう会成人式』を改め、『ふよう会はたちを祝う会』が行われます。今年、成人式を迎えられますのは、平成30年度卒業生の10名のみなさんです。今年度は新型コロナウイルスの感染対応を行いながらの開催になります。参加者の制限もします。ふよう会と準備委員会で計画して下さっています。



## 12月の行事予定

1 (火) 教育実習事後実習	11 (金) マラソン大会 13:30 下校
3 (木) 理社の日(高等部) 次世代育成事業(高1、高2)	14 (月) 漢字の博士試験(希望者) 盲学校巡回相談
7 (月) 個人懇談(希望者)	22 (火) 大掃除(小学部、高等部)
8 (火) 個人懇談(希望者) 職業ガイダンス(高2)	23 (水) 大掃除(中学部)
修学旅行準備 13:30 下校(高3)	24 (木) 終業式 11:30 下校
9 (水) 修学旅行(高3)(~11日)	



## ◆12月の保健行事

体重測定・・・2日(水)小中学部、4日(金)高等部 マラソン前検診・・・1日(火)  
歯科検診・・・14日(月)

## ◆12月の育友会

1日(火)広報部会 14日(月)役員会



## ◆3学期当初の予定

1月7日(木)始業式 11:30 下校・・・今年度は例年より1日早く3学期を始めます。

8日(金)通常授業

1月10日(日)ふよう会はたちを祝う会